

●臨床研究部

◆2012年

樋口 理, 本村 政勝 :

重症筋無力症の診療 最近の進歩・Current Insights in Neurological Science (0918-9645)19-20 巻 Page10-11(2013.02)

樋口 理, 本村 政勝 :

重症筋無力症の診療 最近の進歩・Current Insights in Neurological Science (0918-9645)19-20 巻 Page10-11(2013.02)

◆2013年

《和文》

樋口 理 :

Gaussia Luciferase Immunoprecipitation(GLIP)法を利用した複数膜貫通タンパク質に対する自己抗体検出システム・日本アフェレシス学会雑誌 (1340-5888)32 巻 3 号 Page155-161(2013.10)

《英文》

Higuchi Osamu :

神経筋接合部の形成に必須の低密度リポ蛋白質受容体関連蛋白質 4 に対する自己抗体 (Autoantibodies to low-density lipoprotein receptor-related protein 4 that is essential for the neuromuscular junction formation)・Clinical and Experimental Neuroimmunology (1759-1961)4 巻 2 号 Page216-219(2013.08)

《学会発表》

樋口 理, 中根 俊成, 酒井 和香, 新野 正明, 深澤 俊行, 菊地 誠志, 高橋 利幸, 藤原 一男, 松尾 秀徳 :

本邦の多発性硬化症患者群における抗 KIR4.1 抗体陽性率の検討・神経免疫学 (0918-936X)18 巻 1 号 Page130(2013.11)

◆2014年

《和文》

樋口 理 :

【重症筋無力症-診療 New Standards】 発症機序 神経筋接合部の形成と維持を支える分子基盤とその破綻 2014・Clinical Neuroscience (0289-0585)32 巻 9 号

Page980-982(2014.09)

《学会発表》

Higuchi Osamu, Nakane Shunya, Sakai Waka, Niino Masaaki, Fukazawa Toshiyuki, Kikuchi Seiji, Takahashi Toshiyuki, Fujihara Kazuo, Matsuo Hidenori :  
多発性硬化症に関する抗 KIR4.1 抗体の関連性の検証(Verification of the relevance of anti-KIR4.1 antibody for multiple sclerosis) ・ Clinical and Experimental Neuroimmunology (1759-1961)5 巻 2 号 Page257(2014.06)

樋口 理, 向野 晃弘, 中根 俊成, 前田 泰宏, 小森 敦正, 右田 清志, 八橋 弘, 中村 英樹, 川上 純, 松尾 秀徳 :  
全身性および臓器特異的自己免疫疾患に潜む抗 ganglionic アセチルコリン受容体抗体 ・ 日本臨床免疫学会会誌 (0911-4300)37 巻 4 号 Page334(2014.08)

樋口 理, 中根 俊成, 向野 晃弘, 中村 英樹, 川上 純, 小森 敦正, 右田 清志, 八橋 弘 :  
膠原病および自己免疫性慢性肝疾患における抗 ganglionic AChR 抗体の後方視的解析 ・ 神経免疫学 (0918-936X)19 巻 1 号 Page133(2014.09)

樋口 理 :

神経難病の分子病態解明と次世代型ルシフェラーゼ免疫沈降システムの開発 ・ 平成 26 年度 第 84 回 長崎大学医学部大学院セミナー ・ 2015.3.24